

# 札幌東白石区の 住民協議会と交流

# オウム対策住民協議会ニュース

烏山地域  
オウム真理教対策  
住民協議会

札幌の住民協議会で意見交換会が開かれた

札幌市白石区本道13丁目北、国道12号線(札幌・江別通り)沿いにアレフの4階建ての施設がある。

10月3日午後2時から、このアレフ施設近くの東白石会館で東白石地域オウム真理教(アレフ)対策住民協議会による意見交換会が開催された。

この会議への参加は、6月に開催されたオウム真理教対策関係市区町連絡会に参加した全国の住民協議会が、札幌の住民協議会の活動を支援することを決めたことによる応援の参加であった。会議には、公安調査庁、北海道警察本部、北海道警



生、そして、地下鉄サリン事件被害者の会、足立区、足立入谷地域オウム真理教(アレフ)対策住民協議会、金沢市、金沢オウム真理教対策住民協議会、当烏山地域オウム真理教対策住民協議会が参加して、総勢50人を越える規模で開催された。さらに、共同通信社、NHK、HTB(北海道テレビ放送)も取材に来ていた。各参加者の紹介の後、公安調査庁から

察白石署、北海道危機対策局、札幌市議会議員、札幌市危機対策室、北海道宅地建物取引業協会、近隣の小・中学校の校長先生や副校長先

## オウム真理教問題講演会 —オウム真理教問題を風化させない—

**講師:** 公安調査庁関東公安調査局職員  
**日時:** 12月10日(火) 午後3時45分~5時  
**会場:** 北沢タウンホール  
※当日直接会場へ。手話通訳あり。入場無料。  
※事前の申し込みは不要です。

平成7年に、オウム真理教が引き起こした地下鉄サリン事件や、松本サリン事件などの凶悪事件から24年が経過し、信者が烏山地域に転入してから19年が経過しようとしています。オウム真理教は、現在、主流派の「Aleph(アレフ)」の名称を用いる集団及び「Aleph(アレフ)」と一定の距離を置いて活動する「山田らの集団」、並びに上祐派の「ひかりの輪」の名称を用いる集団を中心に活動しており、現在でも「無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律」に基づき、公安調査庁長官の観察処分が付されている団体です。烏山地域には、現在も「ひかりの輪」の信者が居住し、修行やセミナーと称する活動を続けており、地域の方々には不安な生活を強いられています。世田谷区では、オウム真理教が引き起こした各種事件を風化させず、地域に平穏な生活を取り戻すことを目的に、オウム真理教問題講演会を開催します。皆様の参加をお願いします。

問い合わせ 世田谷区危機管理室地域生活安全課  
電話 03-5432-2267・FAX 03-5432-3066

アレフやひかりの輪、山田らの集団の現状説明があり、参加者からは、アレフの活動内容や規模などの質疑が交わされた。小学生などを対象とした「かるた」を用意していたり若者たちへの勧誘が活発化しており、幼児をつれた女性も頻繁に出入りしているなど300人を超す信者が確認されているなどの紹介があった。



## 坂本弁護士一家殺害・遺棄現場を訪ねて（故龍彦ちゃん1歳2ヶ月）

目的地長野県大町の天気予報は、曇りのち晴れとあったが、取材に向かう私たちの心情を察したのか、一日雲が取れることはなかった。事件発生は1989年11月で、すでに30年も経過しているのに今さらなぜ、との声は承知している。だが私にとって坂本弁護士一家殺害事件は、烏山地域住民協議会の活動に関わり、自分なりに様々なことを知るにつれ、この事件はオウム真理教事件の中では、最も不可解な事件として記憶するようになった。宗教団体への警察の弱腰な体質と横浜法律事務所との関わり、納得出来ない捜査、報道のありかた、龍彦ちゃん（当時1歳2ヶ月）が埋められた場所を、信者岡崎一明（死刑執行）が通報したことへの警察の対応などは、現在でも社会的には広く知られてはいない。そんな私を、今年3月開催された「地下鉄サリン事件から24年のつどい」で、中村裕二弁護士の講演が突き動かした。オウム真理教事件は、宗教団体の壁・警察の管轄の壁・科学捜査の壁・警察組織の壁、さらにマスメディアの問題点などを端的に指摘してくれた（詳細は住民協議会ニュース12月号に掲載）。講演のなかで、龍彦ちゃんの殺害遺棄現場の地図がスクリーンに写し出された。この地図こそが、坂本弁護士が所属していた横浜法律事務所と、神奈川県警に届いた岡崎一明が書いたものだ。大町は釣りやキャンプで何度か訪れ、土地勘もあり、すぐにでも行ってみたい衝動にかられていた。10月21日車で東京を出発、中央道は平日とあって軽快に走る。大町には約4時間で到着するが、遺棄現場に近づくとつれ車中は言葉が少なくなる。岡崎の地図は正確で、目的地らしいところに簡単に着くことが出来た。周囲は黄色の葉

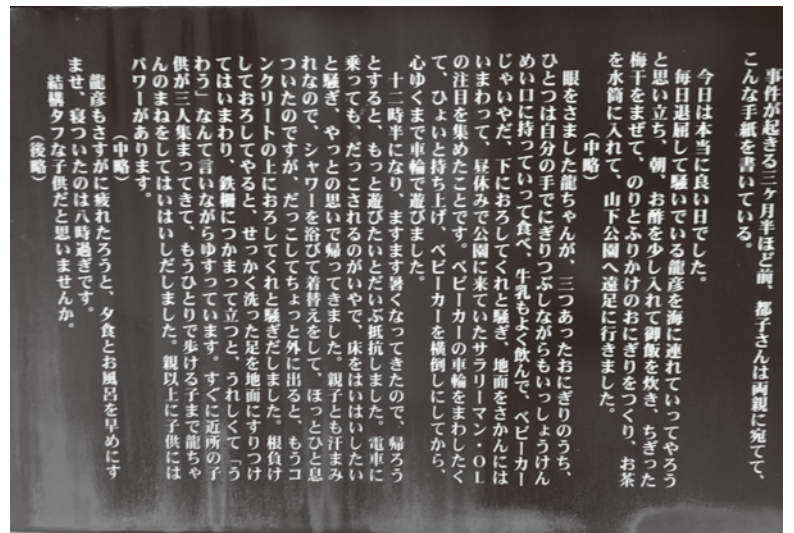


が目立つミズナラの木などが茂る。細い道に入り駐車したが、本当にここなのか確信が持てない。歩くとすぐに3メー



トルはあるだろう葦（ヨシ）が周囲を取り囲む湿地帯。その一角だけ刈取られた真ん中に、龍彦ちゃんを型どったと思える、ちいさな地蔵さんがぼつんと祀られている。埋められた日時は分からないが、大町といえば豪雪地帯、長い間冷たい土の中に埋められ、さぞ寒く寂しかったであろうとの感慨が脳裏をよぎる。龍彦ちゃんに手を合わせ、無言のまましばらく佇む。たまに通る車、横を流れる用水路、鳥のキーンという音が混ざり合う。周りからは私たちの姿はまったく分からない。龍彦ちゃんに別れをつげ、慰霊碑のあるダムサイトの公園に向かう。桜の葉が紅葉し、良く整備された一角に立派な慰霊碑があった。事件の3ヶ月半前に、元気な龍彦ちゃんに手を焼く都子さんが、両親に宛てた手紙が記されている。周囲のきれいな景色に心が和む。ホットした気持ちで帰路についた。三人は北鎌倉の円覚寺に埋葬されている。

信者・信者家族を救おうとした坂本弁護士の献身的な活動が、解決半ばで終わった無念と共に、この事件を神奈川県警が真剣に捜査していれば、その後の事件は起こらなかったとの思いは今でも消えることはない。



## 住民協議会活動報告

10月19日(土)・20日(日) 烏山区民センター文化祭で募金活動  
10月24日(木) 住民協議会  
10月27日(日) 蘆花まつり参加 PR 活動  
10月28日(月) 編集会議 協議会ニュース190号初校正

11月1日(金) 編集会議 協議会ニュース190号再校正  
11月2日(土) 第14回烏山コミュニティまつりで小物販売  
11月6日(水) 事務局会議  
11月9日(土) 第39回抗議デモ・学習会  
11月12日(火) 協議会ニュース190号発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。